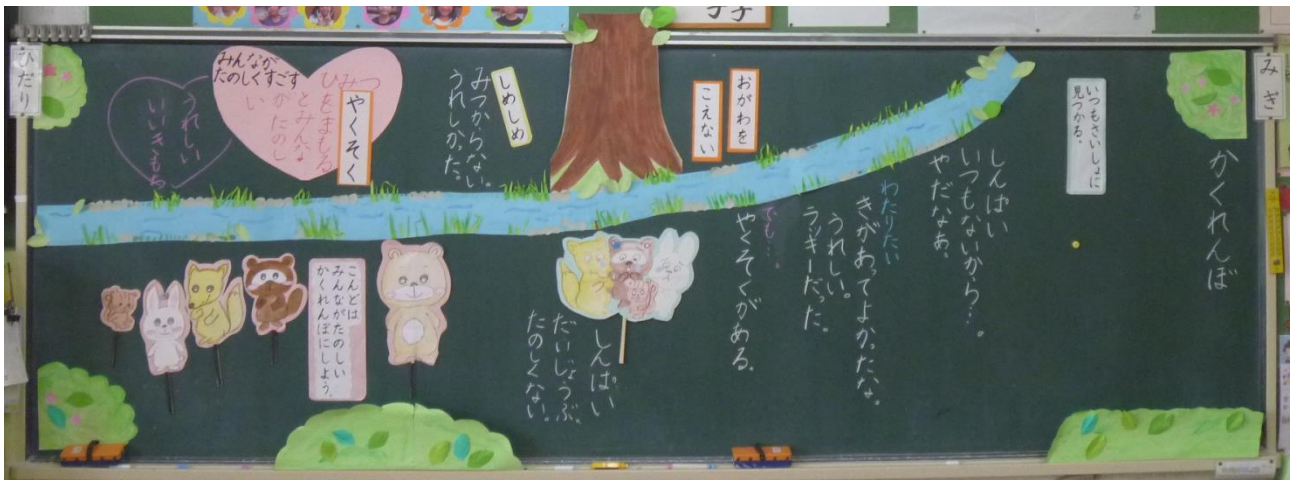


幸手市立上高野小学校

低学年部会

主題名 ルールを守る 【内容項目 C 規則の尊重】

資料名 「かくれんぼ」(彩の国の道徳「きょうもげんきに」)



黒板シアターによる読み聞かせ



ペープサートを使った発表



校長先生からのビデオメッセージ



自分自身を振り返る時間

1 授業者から（「私の授業の観てほしいポイント」の説明、授業についての感想等）

【私の授業の観てほしいポイント】

- ①黒板シアターによる読み聞かせ
- ②多面的・多角的に考えるための発問の工夫
- ③自己を振り返るための工夫

【授業についての感想等】

- 発問したことと児童の反応のずれをどうすればよかったか。
- もう少し子供同士での話し合いも入れたかった。
- 条件・状況を押さえるのに時間がかかってしまった。



2 各グループからの発表（ワークショップ型分科会）

【①のポイントについて】

- 動き、表情が見やすく、児童がよく聞いていた。
- もう少し動かして、くまさんがかくれるには体が大きいところを見せてもよい。
- 場面を区切ってBGMを効果的に使うとよい。

【②のポイントについて】

- くまさん以外の動物たちの気持ちを考えさせたことで、多面的・多角的に考えられた。
- 約束がなかったらどうかな、というゆさぶりを入れてはどうか。
- 子供同士で「〇〇さんと同じで…」のように、友達の意見から広げる手立てが必要。

【③のポイントについて】

- 児童の実生活を振り返ることができた。
- これからどうしていったらいいのか、自分事として考えさせたい。
- なんできまりを守らなければいけなかったのだろう、と聞くとより課題に迫れたのではないかと。



3 指導講評

- 黒板シアター、ペープサートの表情などが工夫され、教材の内容に児童がよくひきつけられていた。
- 児童の実態とこれまでの指導の積み重ねから、考え練られた授業であった。
- 発問の言葉の精選が大切である。少しずつ言葉を変えて何度も問うことは、かえって児童が混乱することにつながってしまう。
- 本時の最後では、約束は何のためにあるのかということを考えさせたかった。自分のこととして考えられるような発問をしたい。
- 「考え、議論する道徳」のためには、まず、自分の考え方、感じ方を明確にすること。友達の意見をしっかり聞いて、自分の意見が変わってもよい。多様な考え方・感じ方に出会うことで、自分の考えを深めていけるとよい。
- 週1回の道徳の授業を大切にしてほしい。

